



風景写真イベントレポート

『風景写真』主催 斎藤友覧スクール 開田高原の夏景色を撮る

8月21日(金)ー22日(土)
長野県木曾町



【講師】
斎藤友覧

開 田高原スクールの出発前、スタッフが22日の長野県の天気調べると、「雨時々曇り」との予報。

「せめて午前中は晴れてほしいのですが。こればかりはしょうがないですね」と講師の斎藤さん。未明に到着した開田高原では、予報通りしっかりと雨が降っていました。

**{ 前日の天気予報は雨模様。
しかし当日はミラクルが…… }**

ところが夜が明けると、不思議なことにそれまで降り続いていた雨がピタリと止んだのです。雨あがりの直後とあってそば畑は濡れてしっとりとした風情になり、畑の向こうに霧が湧き上がる場面も見られました。しかも足下に目を向ければ、雨の滴がコスモスの茎に真珠のように幾つも連なり、その予期せぬ自然のプレゼントに皆さん大喜び。さらに別



のそば畑に移動して撮影している時には、「御嶽山が見えてきた!」。それまで曇っていた空がにわかには青空へと変わり、木曾のシンボル、御嶽山が目の前にその雄姿を現したのです。

午後には雲ひとつない真っ青な空が一面に広がり、「前日の天気予報は何だったの?」。今度は日差しが強くなってきましたが、不易の滝に向かうと、そこは冷気が漂う別世界。簾のように繊細に流れ落ちる滝や水面の映り込みなどを、暑さ知らずで快適に撮影することができました。

夜行日帰りながら、急変した天気のおかげでさまざまなシーンを撮影できた今回の撮影会。参加された方の中に、どなたか強運の持ち主がいたのでしょうか!?



木曾馬の里は、そばの花の他にもいろいろな花が咲いています。左奥に見えるのはススキです。

「ここでは奥行きを出すために縦位置で撮影した方がいいですね。斎藤さんが状況に応じて的確にアドバイスします。



一面に広がる白いそばの花は、まさに高原の夏の風物詩。右奥には御嶽山が顔を覗かせています。



手前のシダとそば畑を組み合わせで作画する斎藤さん。撮影したデジタル画像は、その場ですぐに見せてくれます。

Schedule

21日(金)

22:00 新宿出発

22日(土)

7:30 朝食

①そば畑
(木曾馬の里)

②そば畑(西野)

③そば畑(下ノ原)

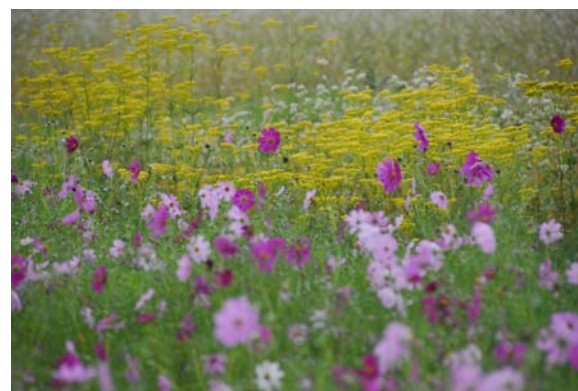
11:00 昼食

④不易の滝・
こもれびの滝

21:30 新宿到着



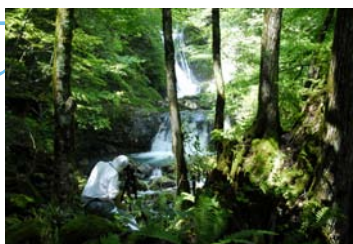
短足胴長の姿が可愛らしい木曾馬。そば畑の脇で放牧されていました。



コスモス、オミナエシ、そばの花が咲き乱れる開田高原。雨上がりの直後とあって、より鮮やかに見えました。



「草についた雨粒を活かして撮ると……」。参加者にフレーミングの一例を示します。



段状に流れる美しいこもれびの滝。不易の滝のすぐ近くにありま。

Event Report



Kaidakogen